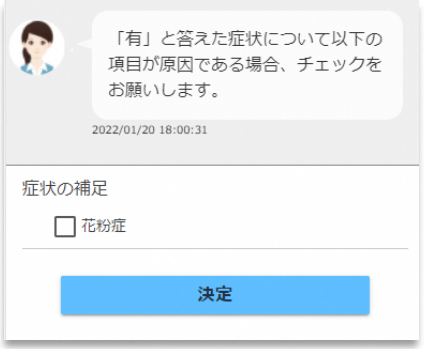
ノイズ除去機能（リリース済）

＜背景＞
健康観察において、ワクチン接種後や花粉症で有症状数に大きく影響がでてしまう。
集団感染を検知する精度を高めるために、ノイズ項目となる対象は除外できないか。

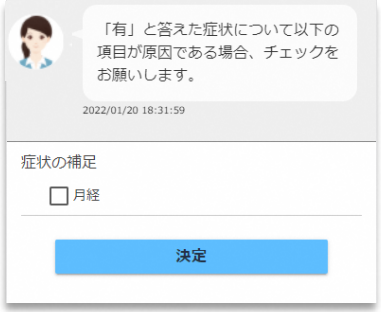
チャット入力画面

以下のように、**特定の症状が有る人に対して追加で補足情報を確認**します。

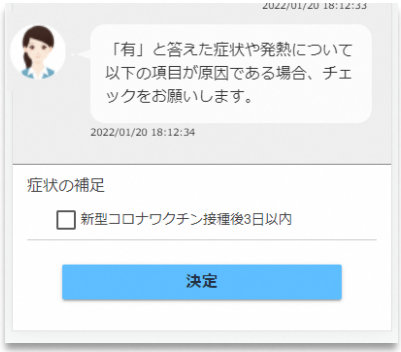
① 鼻汁・鼻閉の症状有り
⇒ 花粉症か否か確認



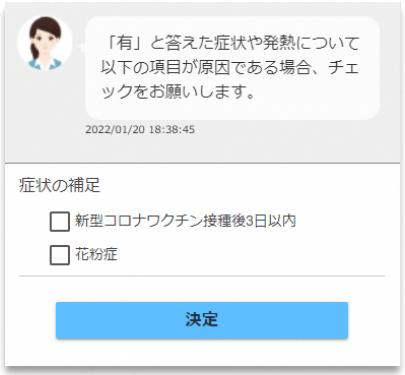
②吐き気、頭痛、だるいの症状有り
かつ 性別が女性
⇒ 月経か否か確認

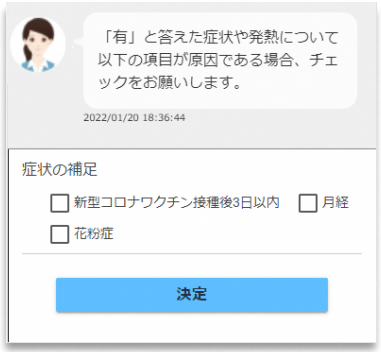


③ 頭痛、だるい、関節が痛い、発熱の症状有り
⇒ ワクチン接種後3日以内か否か確認



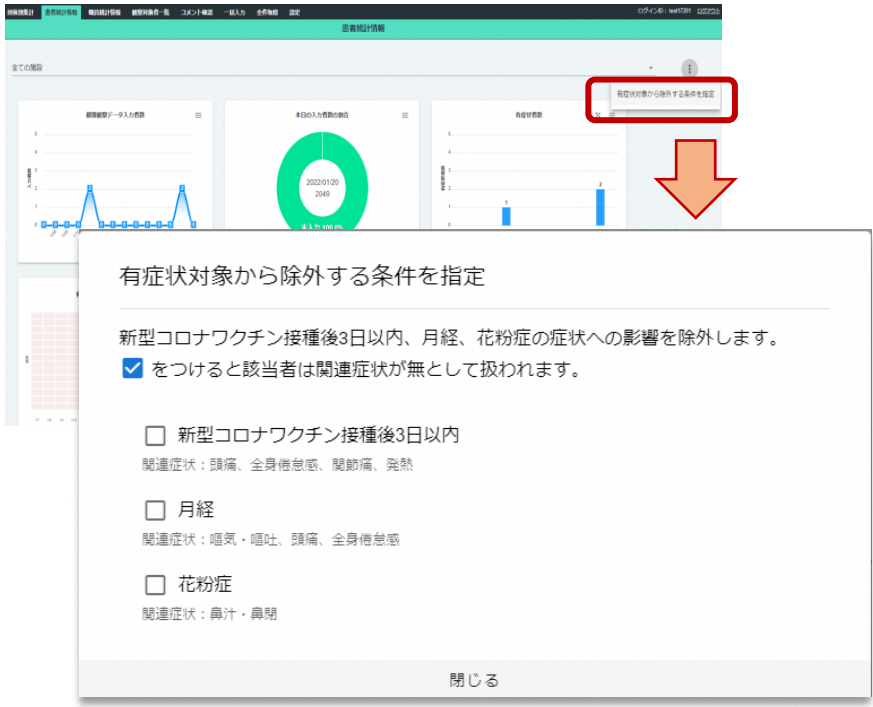
複数の条件に該当した場合は、複数の確認も有り





管理画面

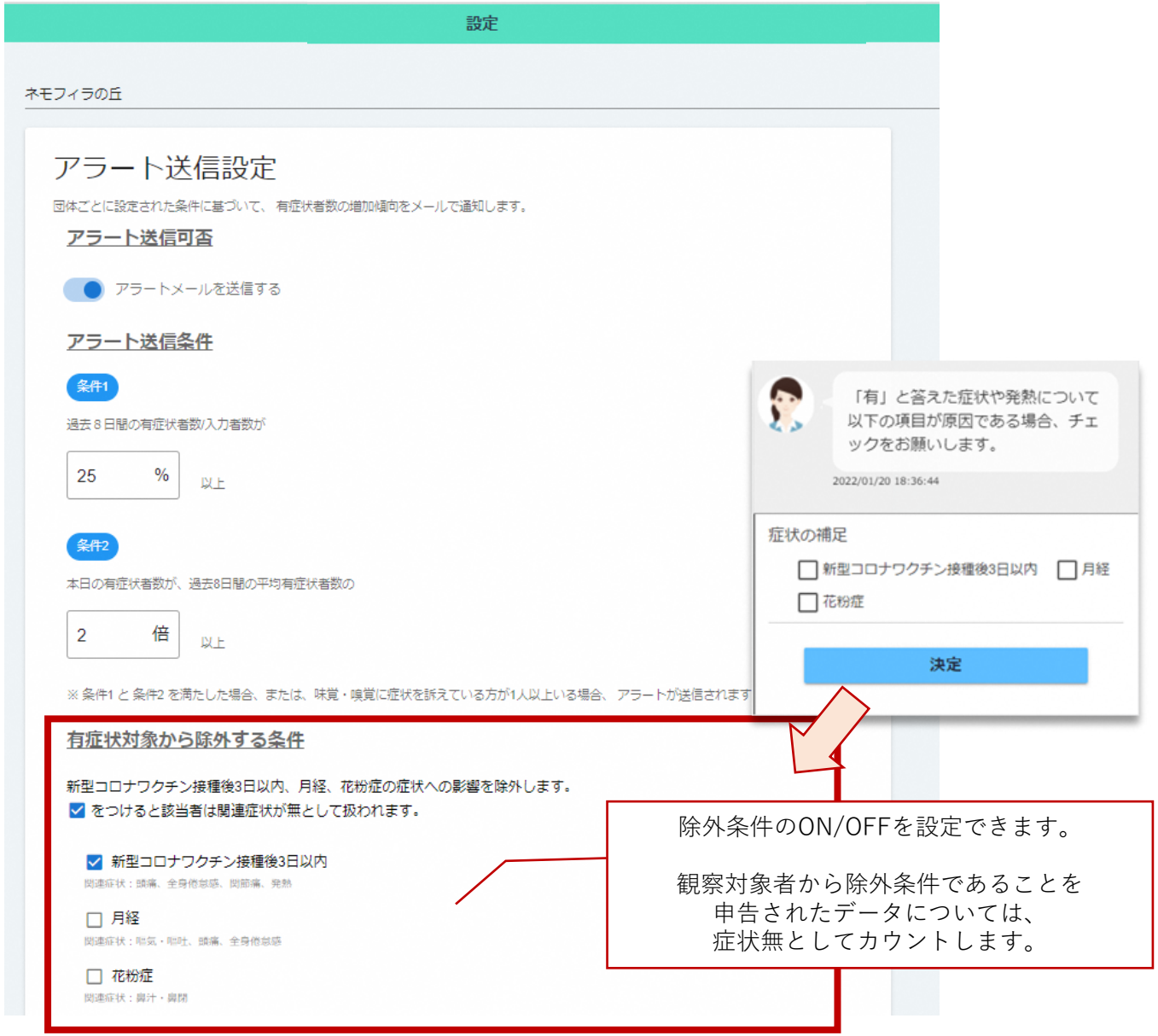
・統計画面の有症状数表示時に該当者分を除外する
・全体集計画面の有症状数表示時に該当者分を除外する
⇒ ノイズ項目を除外した状態で統計情報を確認可能



※これまで通り、除外しない状態のデータも閲覧可能

ノイズ除去機能（今回追加機能）

アラート通知の制御条件にノイズ対象項目を除外する機能を反映します。
季節性（一過性）の有症状数増加によるアラート通知を減らし、より正確なアラート通知を受け取ることができます。



除外条件のON/OFFを設定できます。

観察対象者から除外条件であることを
申告されたデータについては、
症状無としてカウントします。

例）

ワクチン接種後の有症状者を除外条件に設定していなかった場合
⇒ 全体の２５％が有症状者となり、アラートメール発信

「新型コロナワクチン接種後3日以内」を除外条件に設定していた場合
⇒ ワクチン接種後の有症状者は有症状者数としてカウントされないため
有症状者数は全体の25%に満たず、アラートメールは発信されない。